

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
3	L	国語	国語表現	文系	必修	2

講座のねらい

基本方針としては、国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨くことを目標としています。また、基礎的事項の学習に取り組み、言語活動をとおして実践的に学習することで、進んで表現する姿勢を身に付け、国語の向上や社会生活の充実を図っていきます。この講座において、「読む能力」「書く能力」「話す能力」「聞く能力」、さらに「考える能力」「表現する力」を養うことで、国語的素養はもちろんのこと、大学受験における志望理由書、自己PR、小論文、レポート、面接などに対応する力を育成します。

使用教材及び問題集

教科書 「国語表現」大修館書店
副教材 「国語表現 準拠ノート」大修館書店

その他、必要に応じてプリントなどを使用します。

授業の内容と進め方

教科書による授業においては、第1部「表現力を培う」、第2部「表現を楽しむ」を中心に、正確に伝える力や相手を説得する力、わかりやすく説明する力、会話で関係を築く力、議論して物事をまとめる力などを錬成していきます。また、準拠ノートを活用し、基礎的事項の学習を行うほか、実際のAO入試・自己推薦入試などの問題にも触れ、より実践的な力をつけていきます。単元によっては、班学習の形式を用い、生きた表現力を養っていきます。

講座の到達目標

- 1、物語・随筆・日記・和歌・史伝など多くの文章に対して読解力を身につける。
- 2、古典文法や語彙、漢文句法を定着させ、国公立大学入試に対応した解答力を身につける。
- 3、日本・中国の古典に記された「時代の文化」を感じ取り、古典教養を身につける。
- 4、数多くの問題形式に触れ、その解法を学び、実践力を養う。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査の結果を中心に、授業態度・小テスト・ノートや課題の提出状況などを加味し、総合的に評価します。また、基本的に「表現」を大切にする講座ですから、積極的かつ節度ある姿勢で臨んでください。また、各課題やノートの提出については、期限を厳守することを求めます。

備考

表現することは、それ自体が楽しく、魅力的な体験です。そして、高校卒業後には、この講座で学習・経験したことが少なからず実生活に生かされてきます。具体的な課題に対して、柔軟な思考で取り組み、人生の糧と出来るように頑張ってください。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容〉

第1部 表現力を培う

- 1 書いて伝える
- 2 小論文・レポート入門
- 5 声とコミュニケーション

第2部 表現力を楽しむ

- 6 みんなで作ろう国語辞典

その他、基礎的事項・実践問題プリント

2 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容〉

第1部 表現力を培う

- 3 自己PRと面接
- 4 メディアを駆使する
- 6 会話・議論・発表

第2部 表現力を楽しむ

- 1 言葉で遊ぶ
- 2 詩歌を楽しむ

その他、基礎的事項・実践問題プリント

3 学期 学習計画および学習内容

入試対策特別講座

